

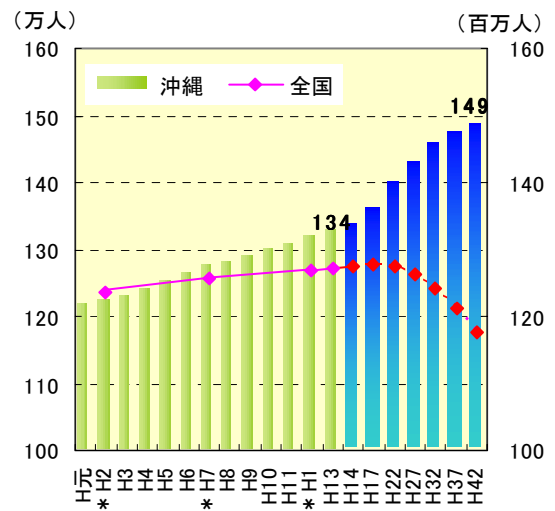
# 1. 沖縄ブロックの現状と課題

## 1 自立的かつ持続的発展のための社会基盤の整備

- 沖縄は復帰後、3次にわたる振興開発計画の実施により、社会経済の各方面で本土との格差は次第に縮小し、定住人口も大幅に増加するなど着実な発展を遂げてきた。しかし、全国に比べて第2次産業、特に製造業の比率が低いなど産業経済面での伸び悩みが見られ、若年層を中心に失業率も高い状況にあるなど、自立的発展を可能とする基礎的条件の整備は十分とは言いがたい状況にある。

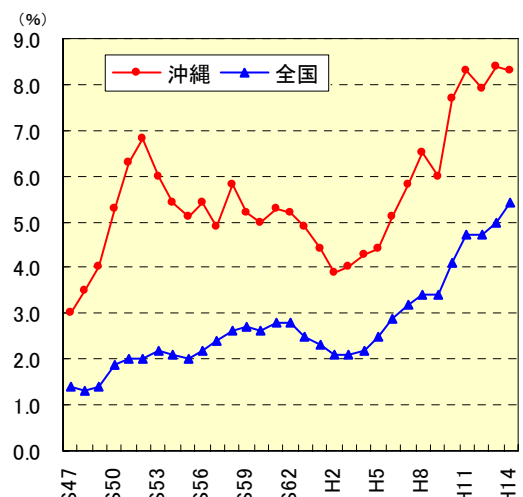
したがって、沖縄の経済的自立を支える産業の一層の振興と雇用の安定を図るため、陸・海・空の交通基盤などの整備や、増加する国内外からの入域観光客に対応した質の高い観光リゾート地の整備などを着実に推進していく必要がある。

人口の推移（増加する人口）



資料:「国勢調査」(総務省統計局)「沖縄県統計年鑑」(沖縄県)  
H14以降は総務省統計局による推計値。

完全失業率の推移（厳しい雇用状況）



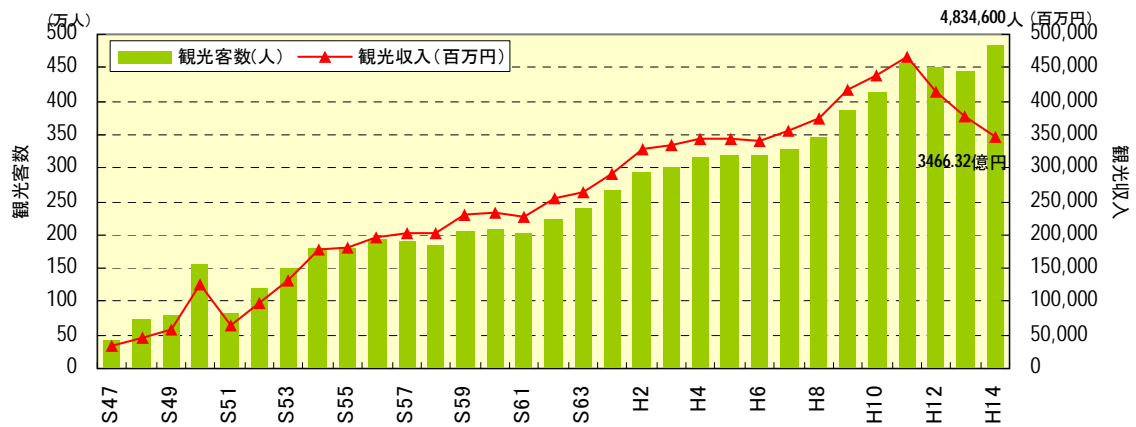
資料:「沖縄県統計年鑑」(沖縄県)

産業別総生産の構成比（比率が低い製造業）



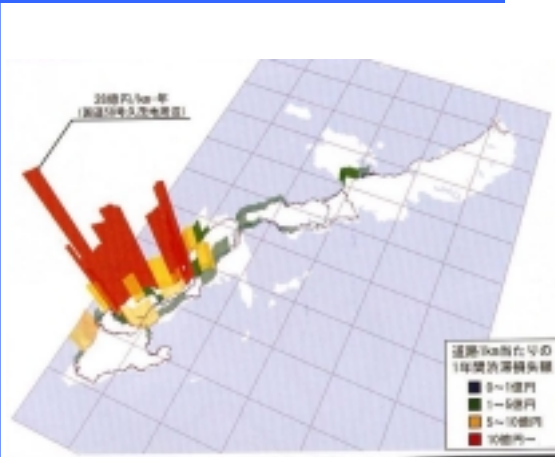
資料:「国民経済計算年報(平成14年版)」(内閣府)  
「平成12年度県民経済計算の概要」(沖縄県)

年度別入域観光客数・観光客収入の推移（増加する観光需要）



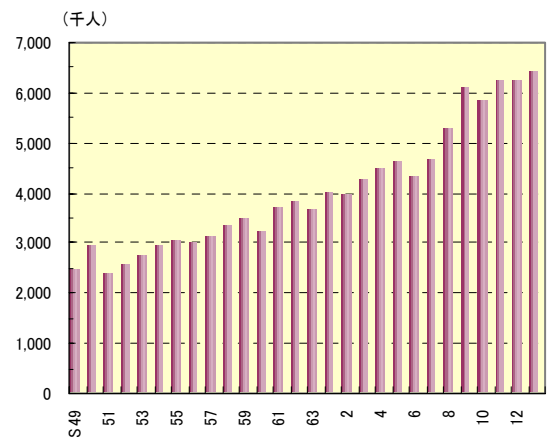
資料:「観光要覧」(沖縄県)

渋滞損失額（那覇都市圏に集中する渋滞）



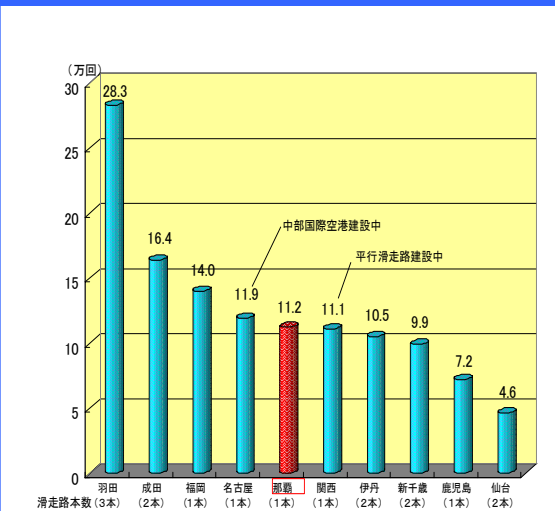
資料:「事業概要 2003」(沖縄総合事務局)

港湾旅客利用者数の推移（増加する港湾旅客利用者数）



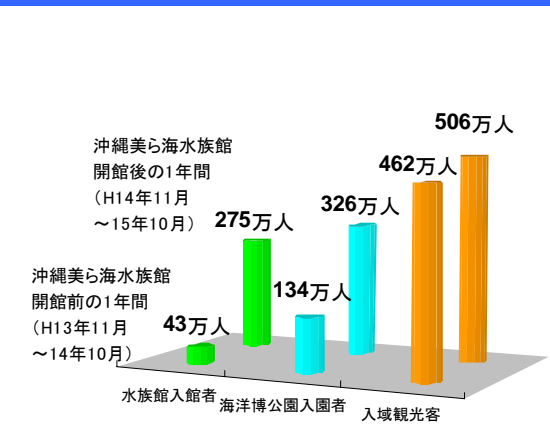
資料:「港湾統計」(国土交通省総合政策局)

離着陸回数（平成 14 年）（利用頻度の高い空港）



資料:沖縄総合事務局

沖縄美ら海水族館の開館に伴う入館者数の変化（入館者の大幅増加により観光産業へ寄与）



資料:沖縄総合事務局